

たくさんのご来場に感謝 銭形フェスティバル.2023

10月1日(日)、銭形グループは『銭形フェスティバル.2023』を開催しました。今年も昨年同様、熱中症リスクを考慮して猛暑の時期を外し、秋の開催としました。また、今年も新型コロナウイルスが「5類感染症」に移行したことを受け、マスク着用のうえで室内でのアトラクションも復活させました。



当日は昨夜から降った雨が明け方には止んで薄曇りの天気。「天高く馬肥ゆる秋」とはいきませんでした。昼からも雨は降らないとの事でスタッフ一同ひと安心です。今回の屋台は、伝統の焼きそばをはじめ、昨年登場のカリッジの唐揚げ、自家製だれのみたらし団子、チュロス、そして、新メニューとして松茸ご飯、チーズトルネードフランク、ワッフルカットポテト、宇都宮しゅうまい、中華ちまき、いちご雪氷など多彩な品数を取り揃え、コロナ禍で開催した昨年より大幅に食数も増やしました。11時開店の予告にもかかわらず、10時過ぎには屋台にご近所のお客様がぽつぽつと並び始め、準備に当たる模擬店スタッフの手はすでにフル回転です。



定刻の11時となり、オープニングセレモニーを飾ったのは、最近子どもたちの間で大人気の『ジャンボリミッキー』です。例年流行りものは外さない銭形オールスターズの軽快なダンスにのせて、いよいよ今年の銭フェスがスタートしました。お昼時にもなると、それぞれの屋台には大きな人だかりができ、模擬店スタッフたちはてんやわんやの大忙しです。12時半ころには早くも完売する屋台が出始め、販売終了時刻の午後1時までにはほぼすべての屋台が商品売り切れ、盛況のうちに閉店となりました。お召し上がりになったお客様からは「全部おいしかったよ!」と、嬉しいご感想もいただくことができました。



そして、祭りを締めくくるは、昨年からの『銭フェス・ナンバーズ』と銘打ったくじ引き大会。今回は特等から3等までの豪華景品に加え、「銭形賞(金一封)」と、今年12月のオープンを目指す訪問介護銭形Nにちなんだ「訪問介護銭形N新規出店記念特別賞(新潟産こしひかり30kg)」も追加しました。自分の手元の札に書かれた番号が読み上げられるたびに、会場からは歓喜と感嘆の声が上がり、司会者の番号を引く手と声にも自然と力が入ります。上位の賞品をゲットして小躍りする人もあれば、狙った賞品を逃して悔しがっている人もいたのがくじ引きの掟、浮世の定めというもの。しかし、大勝負を終えたお客様たちはみなさん、手に入れた景品を大事そうに胸に抱え、笑顔でお互いの健闘をたたえ合っておられました。これぞまさに銭フェスマンシップです!!

今年の銭形フェスティバルもたくさんの方々にご来場を賜り、誠にありがとうございました。銭形グループのご利用者のご家族をはじめ、近隣住民の方々、関係機関や取引先の方々など、長きにわたり当グループと関わりを持っていただいている様々なゆかりの方々を足運んで下さり、日頃の感謝をお伝えする機会をいただけたことは、私たちにとってもとても楽しいひと時でした。年に1度のイベントゆえに至らない点も多かったとは思いますが、来年もまた皆様と元気に銭フェスでお会いできることを楽しみに、職員一同力を合わせて日々の業務に励みたいと思います。

午後1時、ついに皆様お待ちかねのアトラクション&銭フェス・ナンバーズの時間がやってきました。今年のアトラクションは、オープニングでも披露した『ジャンボリミッキー』とYOASOBIの『アイドル』に合わせたダンスです。基本流行りものは必ず攻める銭形オールスターズ。今回も子どもから大人まで幅広い客層の肝と横隔膜をあざとくえぐるパフォーマンスで、お客様からの大きな笑い声と拍手喝采を浴びていました。



(執筆:上原 啓輔)